

エリア最前線 中国版

▶ 中国支局 ◀

☎ 082(223)2535
FAX 082(223)1866

ハローズ

農水省食料局長賞を受賞

食品産業もつ
たいない大賞 フードバンク提供促進

中国・四国地方で食品スーパー(SM)を展開するハローズは、福祉施設やボランティア団体に食品を提供する活動である「フードバンク」と連携し、店舗で出た廃棄せざるを得ない食品を提供する活動を2015年から推進し「食品ロス」の削減を進めている。同社は「フードバンク」と契約を締結した子ども食堂などの支援団体が、近隣のハローズ店舗に直接食品を引き取りに向かうという、食品を扱う施設と近隣の店舗を結び付け、直接やり取りする「ハローズモデル」という仕組みを構築し展開している。このほど、こうした活動が公益財団法人食品等流通合理化促進機構主催の「平成30年度・第6回もつたいない大賞」で、最優秀賞に次ぐ農林水産省食料産業局長賞に選ばれ表彰された。同社はこの活動を、周辺SMだけでなく、全国のSMとの連携も目指し、事業の質の向上や量の拡大を目指している。

(浜岡謙治)

モデル構築で連携拡大へ

提供する商品はラベ
破れるなど店頭で販売
中心で、当然消費期限
ルが汚れたり、包装が
できなくなった商品が
が残っている商品だ。

そのほか、トリミング
もしくは加工すれば食
べることが可能な青果
や精肉加工品なども提
供している。

現在、食品を提供し
ている団体は、ハロー
ズ出店エリア全体のフ
ードバンク11団体や子
ども食堂約30団体、障
がい者就労支援
施設A型・B型
5団体、岡山県
岡山市や赤磐
市、広島県尾道
市などの社会福
祉協議会、ホー
ムレス支援団体
などだ。15年に
岡山市のフード
バンク岡山から

提供商品の一例(写真右、ハローズ店舗で食品を
引き取る稲見桂子代表)フードバンクアリス(右)



提供が始まり、16年か
らは岡山県内で大学な
どを運営する学校法人
が行っている生活困窮
家庭に食料を支援する
活動にも提供を開始す
るなど、現在も展開の
幅を拡大させている。
17年10月から岡山県
倉敷市を中心にフード
バンクを展開するフー
ドバンクアリスの稲見
桂子代表もハローズ店
舗からの食品提供を毎
日受けている。稲見代
表は長年、食品の廃棄
物を減らす活動を行っ
てきたこともあり、そ
の縁で現在はハローズ
だけでなく、天満屋ス
トアや両備ストア、山
陽マルナカ、ニシナな
どのSMをはじめ、山
崎製パンや米飯加工の
企業からも提供を受け
ている。また、障がい
者の就労継続支援A型
事業所を運営している
関係で、引き取りのス
タッフや引き取った食
品を集める倉庫も確保
できているとのこと。

稲見代表は「スーパー
さんから「ありがと
う」といわれ、取りに
来て下さる方からも
「ありがと」といわ
れる。私たちも皆さん
に「ありがと」とい
い、どこに行っても
「ありがと」ばかり
です」と笑顔だ。
ハローズでフードバ
ンク活動を推進する太
田光一商品管理室長も
「このウインウインの
関係をもっと広げてい
きたい」と話す。そし
て「食品ロスはまだま
だ多いが、安全面など
の理由でまだ二の足を
踏んでいるSMも多い
のが現状。しかし、2
万店といわれている全
国のSMが取り組め
ば、それに伴う廃棄コ
スト削減額は大きい
し、それ以上に支援を
求めている方々への大
きな力にもなるなどメ
リットも多い。その意
味でも、今以上にしっ
かりとした持続可能な
仕組みづくりに引き続
き取り組んでいきたく
い」としている。